

2026 年 10 月 1 日

株式会社三菱 UFJ 銀行

ラブアン支店におけるイスラム金融業務の開始について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 大澤 正和^{おおさわ まさかず}）のマレーシア拠点である MUFG Bank Labuan Branch（以下、「ラブアン支店」）は、このたび Labuan Financial Services Authority（Labuan FSA）より Islamic Banking Window（IBW）に係る承認を取得し、イスラム金融業務を開始いたしました。

これにより、ラブアン支店は従来の金融サービスに加え、シャリア（イスラム法）に適合したイスラム金融商品・サービスを提供することが可能となります。また、ラブアン支店にイスラム金融機能を加えることで、三菱 UFJ 銀行の支店として同行の資金基盤や外貨調達力を活用し、より大規模なイスラム金融による資金供給にも対応してまいります。三菱 UFJ 銀行の現地法人である MUFG Bank (Malaysia) Berhad が培ってきたイスラム金融の知見と、三菱 UFJ 銀行のグローバルな資金供給力を組み合わせることで、大型投資案件やクロスボーダー案件を含む、お客さまの多様な資金調達ニーズへの対応力を一層強化いたします。

イスラム金融は、シャリア（イスラム法）に基づく金融の仕組みであり、中東や東南アジアを中心に市場が拡大しています。近年では、サステナビリティや実体経済との親和性の高さを背景に、イスラム圏以外の投資家や企業からも高い関心を集めています。

MUFG はこれまでマレーシア、アラブ首長国連邦（UAE）、インドネシアをはじめとする拠点においてイスラム金融サービスを提供し、豊富な知見を培うとともに、実績を積み重ねてまいりました。中でもマレーシアは、2008 年に MUFG Bank (Malaysia) Berhad が MUFG グループで初めてイスラム金融業務を開始しており、以来、MUFG のイスラム金融業務において重要な役割を担っています。

ラブアン支店は 1992 年の開設以来、アジアを中心に事業を展開するお客さまに対し、クロスボーダー金融サービスを提供してまいりました。このたびのイスラム金融業務の開始により、日本、ASEAN、中東をつなぐクロスボーダーのイスラム金融プラットフォームとしての機能を強化します。特に、マレーシア政府が推進するエネルギートランジション、デジタルインフラ、半導体などの戦略産業における大規模投資案件などに対し、イスラム金融を活用した資金供給の拡充を図ってまいります。MUFG のグローバルネットワークを活用し、各地域におけるイスラム金融のニーズをつなぐことで、クロスボーダーの資金循環を促進し、地域の持続的な経済成長と産業競争力の向上に貢献してまいります。

MUFG は、「世界が進むチカラになる。」というパーパスのもと、今後もお客さまの多様なニーズに応える金融サービスの提供を通じて、持続可能な社会の実現と地域経済の発展に貢献してまいります。

以 上